

11. 繊維 部会

金原 彰 部会長

11. Departamento de Fiação e Tecelagem

Presidente: Akira Kimpara

I .共通テーマ

2009年上期の回顧と下期の展望

繊維業界の状況

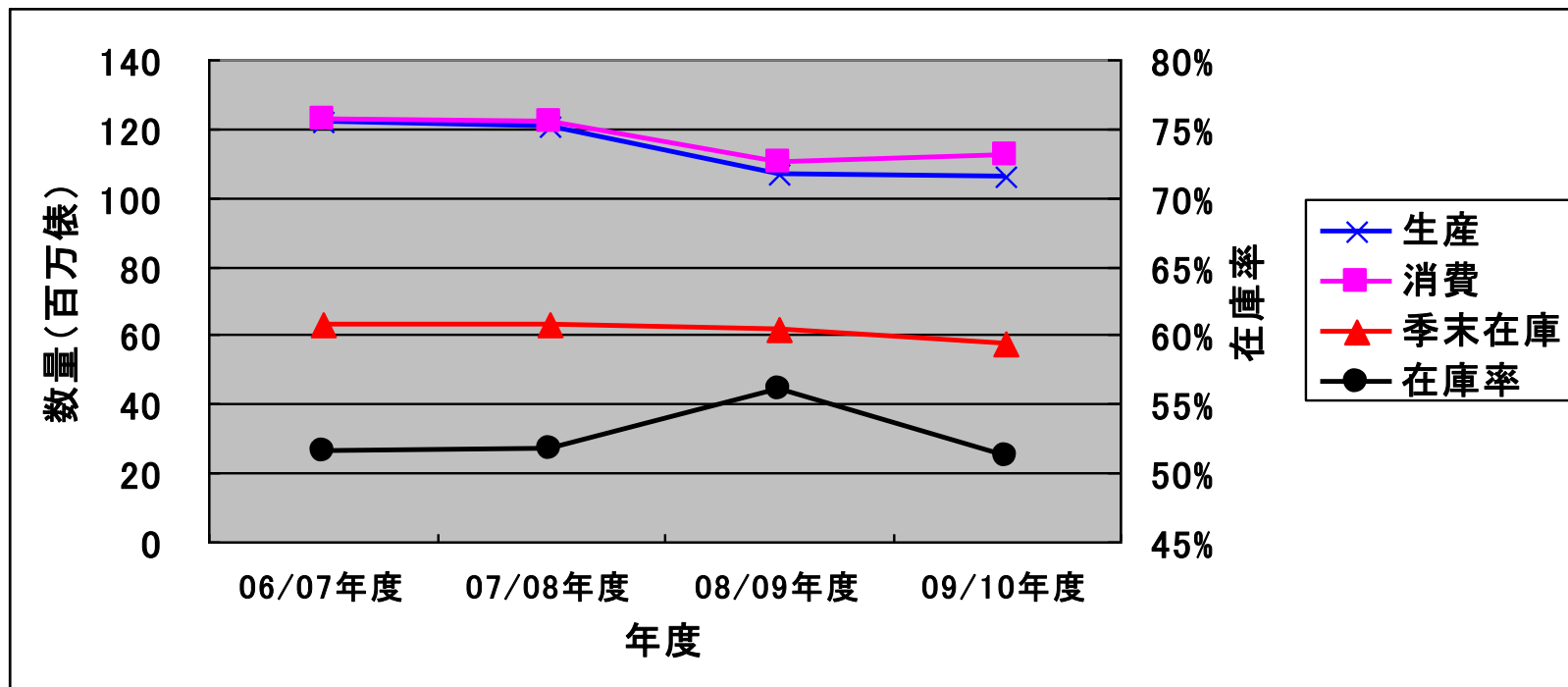
- ①ここ数年で最も厳しい上半期
- ②下期は改善に向かうと思われるが、良くて前年同期並み
- ③通期では前年比大幅な減収減益

1. 原綿

1-1. 国際原綿

1) 世界綿花需給実績と予想(2009年7月10日米農務省発表)

2009/10年度は、前年度比、僅かな生産減、大幅な消費増、これに伴う大幅な季末在庫減(-4.1万表)



単位:百万俵 (480LB)

項目	06/07年度	07/08年度	08/09年度	09/10年度
生産	122.0	120.5	106.9	106.0
消費	123.0	122.3	110.3	112.6
季末在庫	63.3	63.3	61.9	57.8
在庫率	51.5%	51.8%	56.1%	51.3%

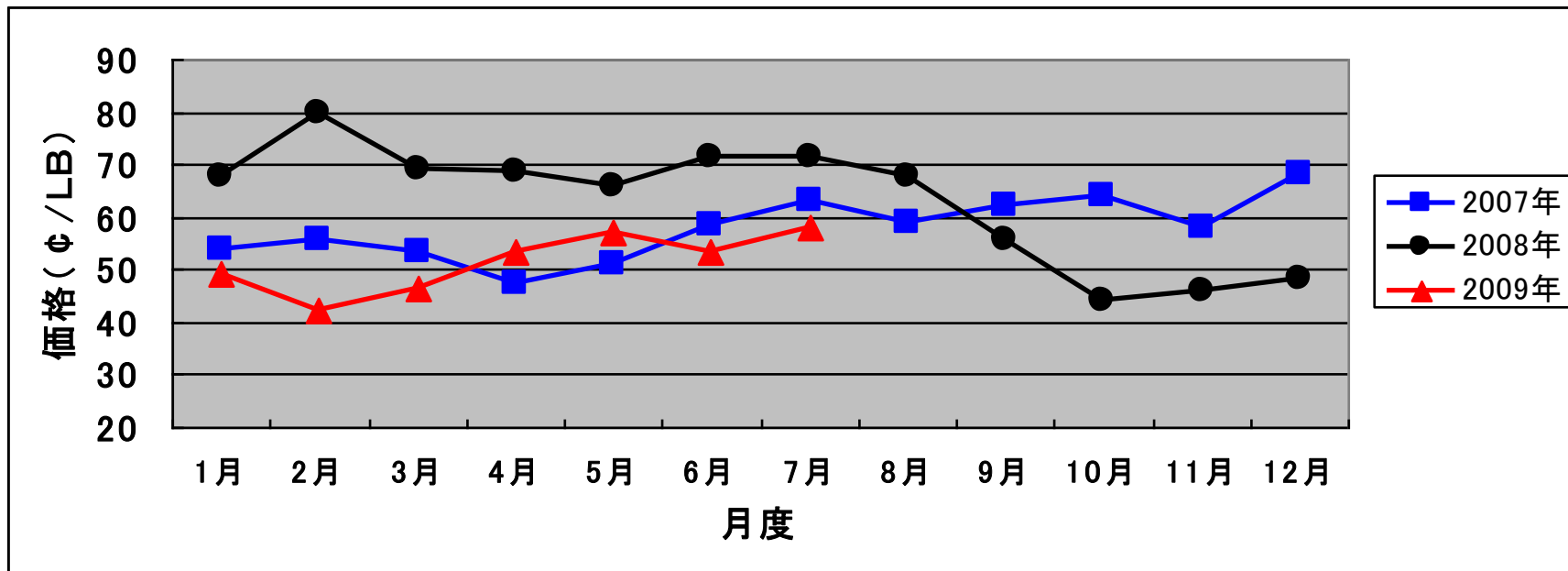
綿花年度:8月~翌年7月

中国が約4割の消費

1. 原綿

1-1. 国際原綿

2) 綿花相場(NY定期、月末終値)



単位：¢/LB

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2007年	54.00	55.55	53.57	47.25	51.05	58.50	63.00	58.87	62.05	64.08	58.20	68.01
2008年	67.79	79.66	69.34	68.74	65.74	71.40	71.65	67.53	55.50	44.29	45.75	48.35
2009年	49.41	42.06	46.47	53.49	56.97	53.30	57.93					

上期：昨年急落した相場であるが、50 ¢ /LB前後から徐々に値を上げ、60 ¢ 前後となった。

下期：60 ¢ /LB前後か？

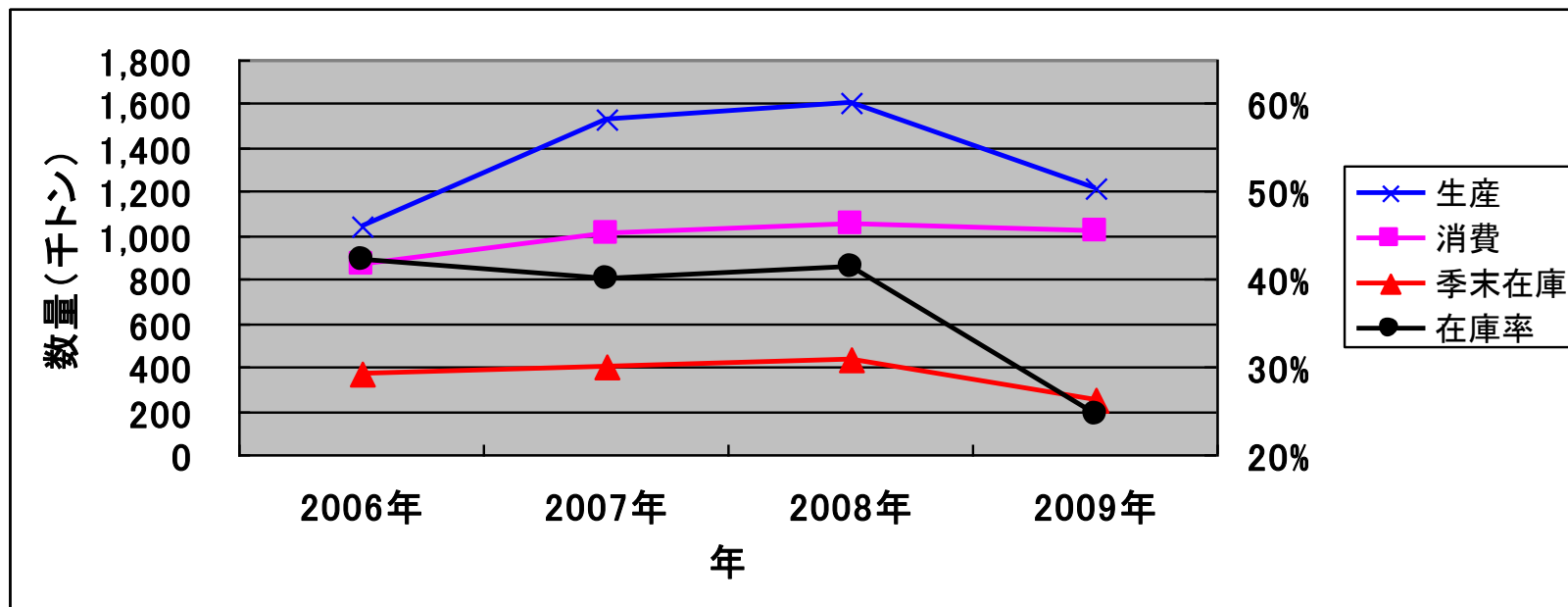
実需より、投機マネー、大豆相場の動き、中国の回復具合等に大きく影響されよう。

1. 原綿

1-2. 国内原綿

1) 国内綿花需給実績と予想(2009年7月7日CONAB発表)

2009年は、前年比、大幅な生産減のため、大幅な季末在庫減。しかし、国内消費は充分賄える。



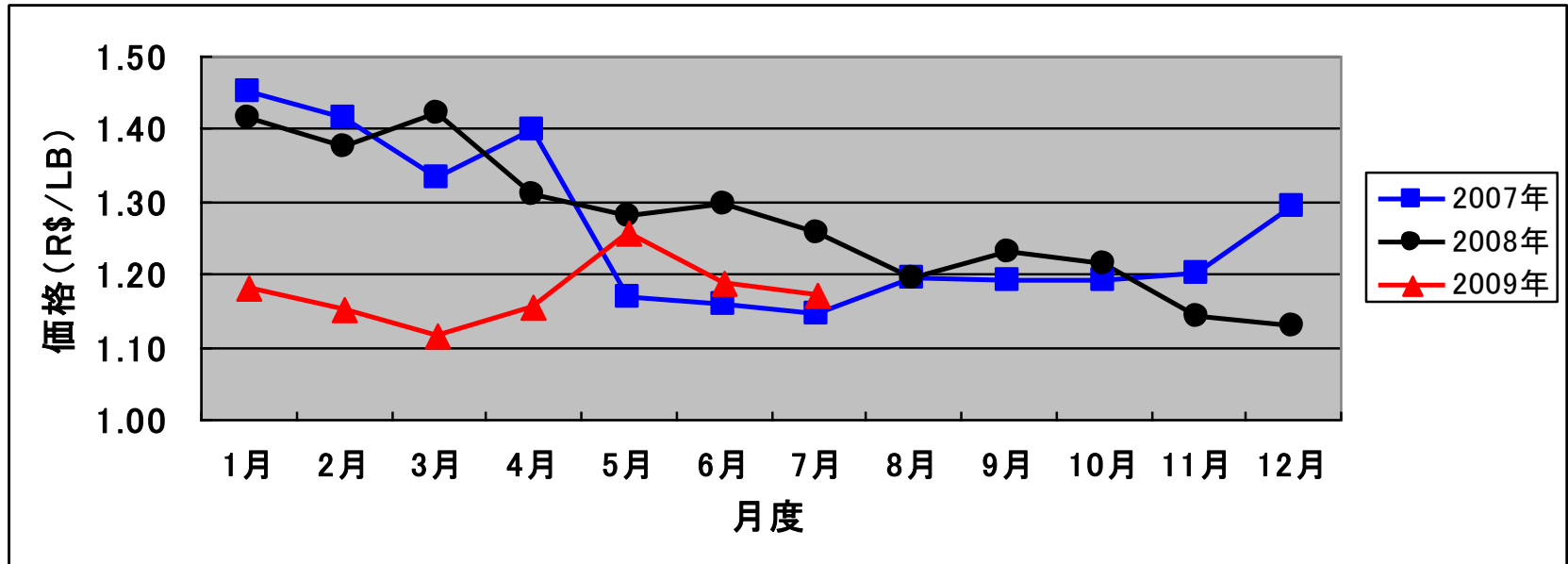
項目	2006年	2007年	2008年	2009年
生産	1,037	1,524	1,602	1,215
輸入	81	98	33	55
消費	870	1,005	1,050	1,020
輸出	304	419	532	435
季末在庫	367	402	435	250
在庫率	42.2%	40.0%	41.4%	24.5%

単位:千トン

1. 原綿

1-2. 国内原綿

2) 綿花相場(ESALQ、月末価格)



単位:

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2007年	1.45	1.42	1.33	1.40	1.17	1.16	1.15	1.19	1.19	1.19	1.20	1.29
2008年	1.42	1.38	1.42	1.31	1.28	1.30	1.26	1.19	1.23	1.21	1.14	1.13
2009年	1.18	1.15	1.12	1.16	1.26	1.19	1.17					

上期:4月には2005年12月以来の安値R\$1.10/LB迄暴落。

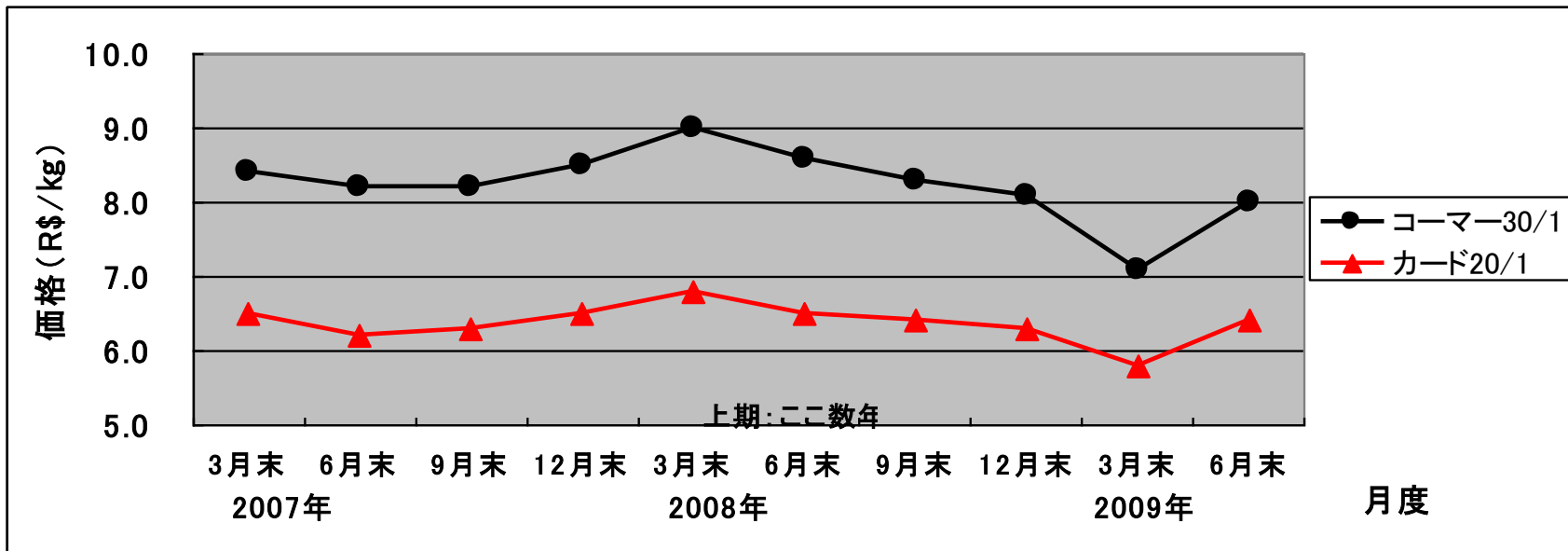
5月に大きく上昇したが、新綿入荷迄、原綿不足の懸念は無くなり、相場はR\$1.20/LBに。

下期:相場が上昇する環境は今のところ見当たらず。

2. 綿糸

2-1. 国内綿糸

綿糸価格



単位: R\$/kg (A Vistaベース、ICMS等込み)

糸種/月度	2007年				2008年				2009年	
	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末
コーマー30/1	8.4	8.2	8.2	8.5	9.0	8.6	8.3	8.1	7.1	8.0
カード20/1	6.5	6.2	6.3	6.5	6.8	6.5	6.4	6.3	5.8	6.4

上期:ここ数年で最も厳しい上半期(4月には2002年以来7年ぶりの安値)。

しかし、6月度には大暴落前の95%程度の価格まで戻す。

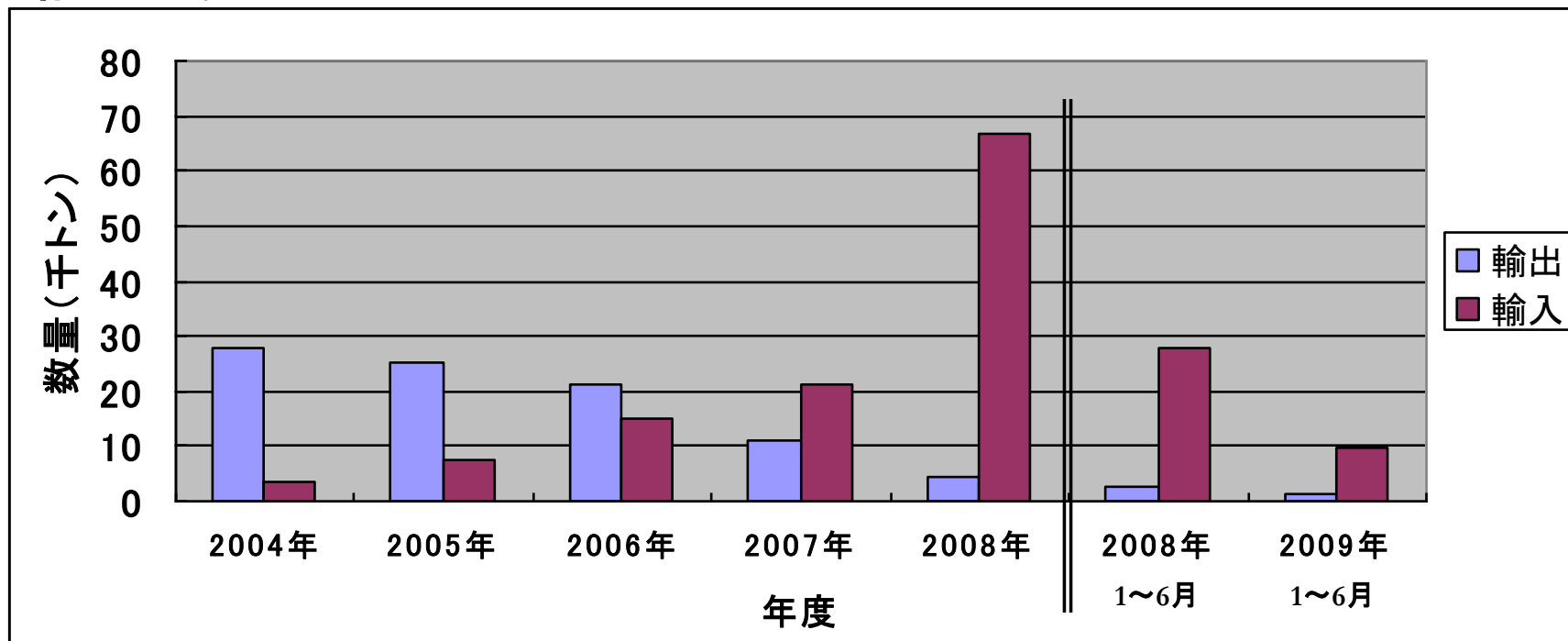
下期:再燃したリアル高傾向から輸入綿糸の流入も懸念。

本格的な需要期を迎え、糸値をどこまで戻せるか？

2. 綿糸

2-2. 綿糸貿易

輸出入実績



単位:千トン

年度	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2008年 1~6月	2009年 1~6月
輸出	27.76	25.02	21.40	10.97	4.41	2.74	1.19
輸入	3.69	7.66	15.01	21.37	66.76	28.03	9.68
為替レート※	2.90	2.40	2.20	1.90	1.80	1.70	2.20

※期中対ドル(R\$/US\$)

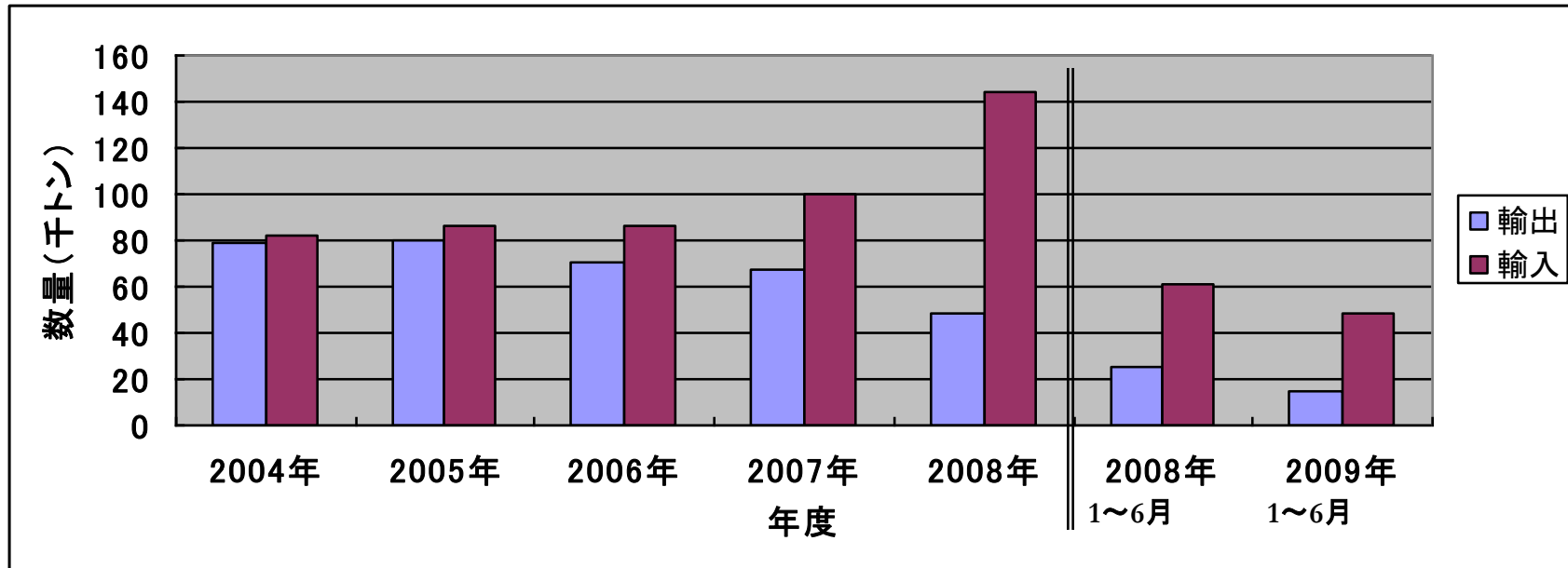
上期:対前年同期比、輸出入とも大幅に減少(輸出56.4%減、輸入65.5%減)。

下期:為替がR\$2/US\$を切り、輸出は更に困難に、輸入は昨年のような大幅増加にはならない?

3. 織物

3-1. 薄地織物

輸出入実績



単位:千トン

		2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2008年 1~6月	2009年 1~6月
輸出	織物 [注1]	79.4	79.6	70.3	66.9	48.1	25.5	14.4
	綿 合織	62.3	59.5	56.9	54.6	37.5	20.5	11.1
輸入	織物 [注1]	82.0	86.3	86.5	99.9	144.2	61.2	48.9
	綿 合織	4.6	6.4	16.1	16.1	40.7	13.4	14.3
輸出入収支	織物 [注1]	△ 2.6	△ 6.7	△ 16.2	△ 33.0	△ 96.1	△ 35.7	△ 34.4

[注1] その他天然繊維等を含む

上期: 対前年同期比、輸出入とも減少。各製造段階での在庫増加。操業度低下。

下期: 国内消費上がっても、在庫があるため、操業度が戻るまでは、もう少し時間がかかる。

3. 織物

3-2. 紳士・婦人服地

1) 2009年上期の回顧

- ①寒さが遅れて冬物衣料は惨敗。
- ②5月の母の日は苦戦。6月の恋人の日は寒くなり良く売れた。
- ③生地 of 輸入量は20%程減。既製服はドル高でも約25%弱増加。

2) 2009年下期の展望

- ①6月には寒くなったため、小売の冬物在庫は消化できそう。
- ②IPI減税の効果も出てきたし、消費が伸びるよう期待したい。
- ③景気は底をついたとは思われず十分注意が必要。

4. ファスナー

1) 2009年上期の回顧

- ①衣料品在庫・生産調整によって、ファスナー在庫調整が進んだ。
- ②ジャケット分野の動きが特に不調。
- ③主力のジーンズ分野も低調に推移。

2) 2009年下期の展望

- ①為替の上昇、輸入衣料増、輸出商品競争力低下が想定される。
- ②輸入衣料の浸透と共に、国内生産衣料における価格圧力も強まる。
- ③上記により、市場環境は引続き厳しい。

Ⅱ.業種別部会コメント

ブラジルにおいて部会各社は、世界金融・経済危機による底は脱したか？

状況	簡単な理由やコメント
(7人)はい脱した	<p>①売値は戻らないが、販売量は4月～6月には危機以前に戻り、在庫は正常となった。</p> <p>②売値は4月で下げ止まり、6月にはかなり戻した。しかし、前年比ではまだ低い。</p> <p>③底は脱したとはいえ、輸出不振でまだ在庫が多い。</p> <p>④不振は危機だけの影響ではなく、構造的なものもあるのではないか。</p>
(1人)いいえ	<p>①個人消費が戻るのは、まだ先だと思う。</p>

以上